平成２１年2月４日

各　　位

会 社 名　あすか製薬株式会社
代表者名　取締役社長　山口　隆
（コード番号　４５１４　東証第一部）
問合せ先　法務広報部長　小松　哲
（ＴＥＬ．０３－５４８４－８３６６）

更年期障害治療剤「メノエイド®コンビパッチ」新発売のお知らせ

あすか製薬株式会社は、更年期障害治療剤「メノエイド®コンビパッチ」を 2009 年 2 月 5 日に発売いたします。メノエイド®コンビパッチは、あすか製薬として新薬第 1 号になります。

更年期障害におけるホルモン補充療法では、一般的には卵胞ホルモンと黄体ホルモンの 2 種類の薬剤を併用する必要がありましたが、メノエイド®コンビパッチは国内で初めて黄体ホルモンによる子宮内膜増殖抑制効果を検証し、両ホルモンを一剤に配合した貼付剤です。

本剤は、1 週間に 2 回貼り替えるだけでホルモン補充療法を簡便且つ確実に実施でき、投薬コンプライアンス向上が期待できるうえ、肝臓での初回通過効果を受けないため、脂質代謝・血管炎症への影響を抑えることができるなどの特長を有しております。また、配合貼付剤は欧米を中心に世界 40 か国以上で承認されており、高い有効性と安全性が認められています。

更年期障害治療の新たな選択肢として、全国各地で専門医師向け講演会を積極的に開催し、先生方にメノエイド®コンビパッチの適正使用の浸透をすすめてまいります。また、女性一般誌への更年期障害関係記事の掲載によって疾病の啓発を行い認知度の向上に努め、更年期障害に悩む多くの女性の健やかな明日に貢献してまいります。

産婦人科領域は弊社の取り組むべき重要な領域と考えており、更年期・不妊・避妊・周産期等生殖から更年期の QOL をサポートする製品ラインアップの一層の充実をはかっています。その第一弾が今回発売するメノエイド®コンビパッチであり、緊急避妊薬・遺伝子組み換え卵胞刺激ホルモン（不妊症治療剤）・卵巣癌治療剤など新製品の早期上市にも取り組み、産婦人科領域のスペシャリティーファーマとしての展開をすすめてまいります。

東京歯科大学市川総合病院産婦人科教授・高松 潔先生のコメント
「近年、世界的にホルモン補充療法（ＨＲＴ）の有用性が再注目されています。わが国でもＨＲＴガイドラインを策定中であり、安全かつ有効にＨＲＴが施行できる環境が整ってきました。このタイミングで発売されるメノエイドコンビパッチは患者さんのニーズに応えた待望の製剤であり、日本の中高年女性のＱＯＬ向上に大きく貢献することと思います。」

＜製品概要＞
【販　売　名】メノエイド®コンビパッチ
【成分・含量】１枚（9cm²）中　エストラジオール 0.62mg　酢酸ノルエチステロン 2.70mg
【剤形・性状】白色半透明の円形の経皮吸収型製剤
【効能・効果】更年期障害及び卵巣欠落症状に伴う血管運動神経系症状（Hot flush 及び発汗）
【用法・用量】通常，成人に対し，メノエイドコンピパッチ 1 枚を 3～4 日ごとに 1 回（週 2 回）下腹部に貼付する．
【包　　装】24 枚，48 枚，96 枚

以　上